

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス めだかミニスクール		
○保護者評価実施期間	2025年6月17日 ～ 2025年6月22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65名	(回答者数) 37名
○従業者評価実施期間	2025年6月17日 ～ 2025年6月22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 6月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	変化していく社会の中で、精神的な自立、経済的な自立、また子ども自身がいきいきとした人生を送れるように子どもたちに惜しみなく技術を提供し、コミュニケーションに繋がる支援ができる環境を提供している。	専門的な活動については外部講師を積極的に招き、多様なプログラムを展開。プログラムが固定化しないよう、スタッフ間で日々の話し合いや振り返りを重ねながら支援内容を柔軟に更新しており、一人ひとりに最適なアプローチを追求しています。	就労についてもさらに視野が広がるプログラムを提供していきたい。
2	同一法人内に保育所・高齢者施設など多世代にわたる福祉施設を有しており、子どもたちは多世代交流を通じて、思いやりや社会性をみにつけることができています。	同法人内の保育所や高齢者施設と連携し、季節の行事の共同開催や読み聞かせ・手遊びなどの世代を超えた交流を実施している	交流する機会がまだまだ少ないので、機会を増やしていきたい。
3	近隣に小学校があるという立場を活かし、活動内容に応じて体育館や校庭等の施設を借用するなど、地域資源を活用した支援を実施している。	特に、広いスペースが必要な運動遊びや集団活動などにおいて、体育館や地域の施設を使用することで、子どもたちが思い切り体を動かせる環境を整え運動面だけでなく、社会性や協調性を育てる支援の場を作っている。	施設利用の使い方等子どもたちと一緒にできる機会を増やしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の中が狭いため、クールダウンスペースが常にはない。	施設の大きさに限界がある。	クールダウンを行いたいときは、カーテンでの仕切り内や、パーティションで区切る等の対策を行っている
2			
3			